

市長候補

石丸

いしまる しんじ

伸二

—

—

37歳

新しい政治を
はじめよう



<https://ishimaru-shinji.com/>

<https://www.facebook.com/ishimaru1982/>

Twitter: @shinji_ishimaru

①政治再建、②都市開発、③産業創出を柱に、 「この先も世界で一番住みたい」と 思えるまちを目指します。

立候補の背景

決意したきっかけは、7月7日のニュースです。「市長の辞職を受けて、副市長が立候補を表明した」「他に立候補を表明している人はいない」と知り、市民に選択肢を提示できない政治の機能不全にかつてない危機感を覚え、翌8日に退職願を出しました。

すぐに動けたのは、将来は「地元に戻って仕事をしたい」「政治に関わりたい」と考えていたからです。米国に駐在しているときも様子が気になり年に1、2回は帰ってきていましたし、友人達とはよく政策提言の話をしていました。

地元のことを考え始めたのは大学生のときです。高校で広島市内へ通うようになり「都会に出た」と思っていたのに、さらに大きな都会の存在を知り、衝撃を受けたのを覚えています。「ずいぶん遠くまで来れた」と感慨に耽ると同時にそれまでを振り返り、育ててもらった地元に対して「何かを還元しないとイケない」という気持ちになりました。

ただ、就職し東京へ出てみると、さらに別世界が待っていました。同じ日本とは思えないほどです。その後、ニューヨークへ赴任し、カナダからチリまでアメリカ大陸を巡る仕事を通して、世界の広さを実感します。そして、色々な国、色々な街を見る中で改めて自分の出発点に意識が向かい、「やっぱり生まれ育った場所は特別なんだな」と思い至りました。

自身の強み

前職で身につけた「分析力」は市政に活用できると考えています。

計算やデータというと「実社会では通用しないのではないか？」と思われるかも知れませんが、ほとんどの方は天気予報を信じて傘は持って出るし、診察を受けて効くと言われた薬を飲むはずです。計算やデータによって、ここ数年で天気は数時間単位の予測ができるようになり、薬はどんどん良いものが登場しています。

このように、実は身近なところで計算やデータが活かされています。最近、新型コロナや自然災害への不安が高まっていますが、緊急対応には勘や思いつきではなく、何よりも科学的な判断が重要です。変化が早い時代だからこそ、政策には事実に基づく客観的な視点が求められています。

◎石丸 伸二(いしまる しんじ)のプロフィール

1982年8月12日、吉田町生まれ。吉田小学校、吉田中学校、広島県立祇園北高等学校を経て、京都大学経済学部を卒業。2006年に三菱UFJ銀行へ入社。経済を分析・予測する専門家(アナリスト)として初代ニューヨーク駐在となり、4年半にわたってアメリカ大陸の主要9ヵ国25都市で活動。

石丸伸二後援会事務所

〒731-0501 安芸高田市吉田町吉田 3782-8 TEL.0826-42-1961 FAX.0826-42-1962